

保育事業部では、7月に備えたプール開きを前に、三力園合同で「救急救命」研修を行いました。

三ヶ園合同救急救命研修



救命の連鎖と住民の役割

傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる行動のつながりを「救命の連鎖」といいます。
 「救命の連鎖」は「心停止の予防」「心停止の早期認識と通報」「一時救命処置(心肺蘇生とAED)」「二次救命と心拍再開後の集中治療」の四つの輪でなりたち、この四つの輪が途切れることなく素早くする事で救命効果が高まります。
 「救命連鎖」の最初の三つの輪は、その場に居合わせた人(住民)で行いその、一次救命処置が行われた場合が、生存率や社会復帰が高い。

乳児救急救命

1. 乳児の心肺蘇生法
 1) 心肺蘇生法の手順
 2) 人工呼吸
 3) AEDの使用法

2. AEDの使用法
 1) AEDの準備
 2) AEDの貼付け



職員実践風景



一連の流れを行う実践で、2分間一人で心肺蘇生を続けた職員は、「助けたい思いでやっていたが、後半十分にかを入れる事ができなかった」など汗だくになり、感想を伝え、命を守る仕事の重大さや責任を改めて感じていました。

毎年行っている
 【救急救命研修】
 今回は系列会社の
 看護師の糸洲さんを講
 師に招き、学びました。

心肺蘇生



【大切な命を救うための
 心臓マッサージ、そしてAED。
 それは、あなたにもできること。
 その場にいる
 あなたにしかできないこと】
 DVDから何度も流れるこの言葉を心に
 しっかり止めたいと思います。

AEDの実践



子ども達の健康・安全を守るお仕事の保育士！！
 講師の糸洲さんのお話を真剣に聞き、職員は実践に挑戦し、
 いざという時に備えます。